

吉田小だより

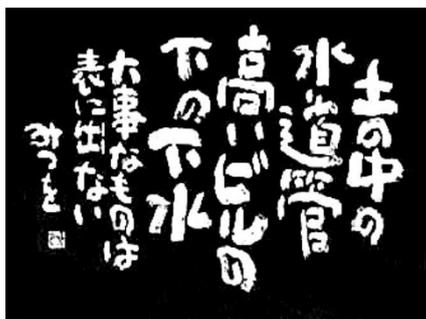
〒370-2464 富岡市南蛇井 275 TEL 67-2227

夢や希望をもち、学びいそしみ、
心をみがき、いつも明るい元気な吉田っ子
なかよく かしこく 元気よく

富岡市立吉田小学校 校長 藤井 清一 N0.2 H30.4.17 発行

学校HP_URL <http://yoshida-es.nc.tomioka.ed.jp/>

■ 始業式 4/9 始業式で話しました



「大事なものは表に出ない」

土の中の水道管 高いビルの下の下水 大事なのに表に出ない みつを

他にも、大事なのに表に出ないものがあります。

例えば、

空気。目に見えないのにこんなに大事なものはありません。

時間。1年間はあっというまに過ぎてしまいます。

自分の姿。猫背で歩く人。下ばかり向いて歩く人。

自分がどのように歩いているか、誰も分かっていない。

心臓や肺などの内蔵。健康に気をつけ、規則正しい生活をしていますか？

自分の心。目に見えない自分の心を大切に育てていますか？

あなたの頭。髪の毛じゃないよ。頭脳のことだよ。文字が読めると本が読める。文字が書けると手紙が書ける。計算が出来るとお金が貯まる。鍛えれば鍛えるほど働いてくれる脳細胞。

未来の自分。成りたい自分は目に見えないけれどとても大切なもの。未来の自分を育てるために、今、やらなければ大人になってもできるようにならないことがあります。それは、「あいさつ」です。

「あいさつ」は、「おはよう」「こんにちは」「さようなら」という本来の意味だけではなく、「あなたは、私にとって大切な人です」「あなたのおかげで、食事や勉強ができますありがとうございます」の目に見えない気持ちを伝えています。あいさつは、リーダー学であると社会にでると気づく人が多いのです。だから、あいさつが良く出来る人とそうでない人とでは、将来、差が出てきます。

このように、大事なものは表にでてこないもの。だから、自分の頭で考えて、後になって後悔しないように今を大切にしたいと思えます。未来の自分のためにタネを蒔こう。そして、どんな場所に置かれてもきれいな花を咲かせよう。

今年蒔いたタネが今年中に咲くとは限りませんが、きっと子どもたちの花が咲いてくれると信じています。

追伸：「花は咲く」NHK 東日本大震災復興支援ソングを思い出しました。

■ 入学式

平成30年4月9日(月)、30名の新1年生の入学式を明るい雰囲気の中、挙行することができました。今年、例年になく人数が多くて賑やかな1年生になります。

子どもたちと保護者と撮影した写真は、プロに撮っていただいたので、後日注文をとることになります。健康に気をつけ楽しく学校に通って欲しいです。



■ 吉田小webページをご覧ください。



平成30年度の富岡市立吉田小学校webページをごらんください。今日の出来事や本日の給食、そして、各学年のページをつくって、担任の先生ができるだけたくさん画像やコメント、お知らせを掲載するよう努めます。楽しみにしててください。

ログインID：yoshida30pta
パスワード：30pta
ログインをしないと各学年のページは閲覧できません。

■ スマホでも吉田小webページをご覧ください。



この3つの縦並びの点をクリックすると、「ホーム画面に追加」の文字が現れるのでクリックします。

ホーム画面にアイコンができるので、次からはすぐに吉田小webが立ち上がります。(機種にもよりますが・・・)

この3本の横線をクリックすると「ログイン」の文字がでます。ログインをクリックして、IDとパスワードを入力して、ログインしてください。

吉田小webページは、スマホで閲覧しやすいように、画像が自動で拡大・縮小・回転などをしてくれます。また、新着情報3日分をトップページに表示するので、お子さんの所属する学年の記事がアップされていたらそこから目的のページに行くことができます。

過去の記事を見たいときは、メニューの一覧から学年のページにとんでください。

大きな行事があれば、その様子を撮影した写真は、学校だよりや学年・学級だよりで紹介していました。しかし、モノクロであったりタイムリーな情報ではなかったりしたものはばかりです。

今は、ほとんどの家庭でスマホやパソコンを所有していますので、タイムリーで鮮明な画像を提供することができます。ぜひ、ご活用ください。

■ 退任式 お世話になった5名の先生方とのお別れ



退任の挨拶で、秋和侑里花先生から、「苦手なこと、不得意なことでも逃げないでコツコツやっていたら出来るようになった」とよこたくんが言ってくれた言葉が心に残っていると話されました。2年生から6年生までが感動で涙をながす子どもたちが多かったです。出会ったのも必然、別れも必然、縁が当たったこと、退任式が済んでも、別れを惜しむ子どもたちが職員室を訪れて、いつまでもいつまでも話が尽きませんでした。

